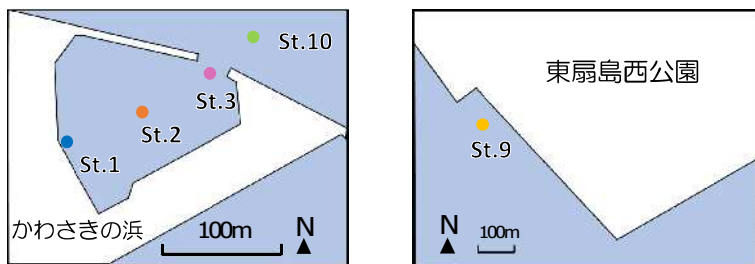


# 川崎港(東扇島公園周辺)の水質

川崎港で行った水質調査のうち、水温と溶存酸素(DO)の結果の一部を紹介します。  
 調査は図の地点で行いました。



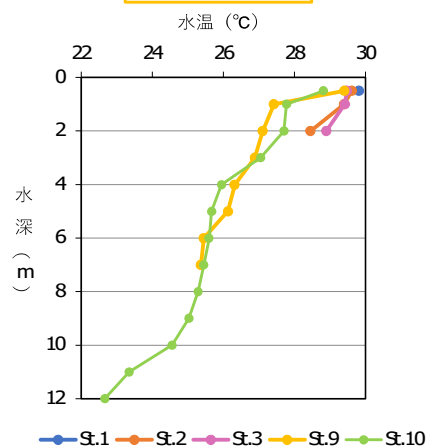
調査地点図

## ①水温

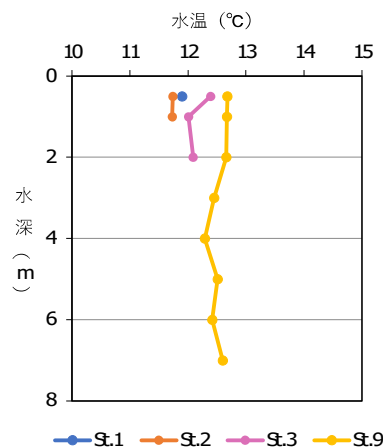
夏の調査では海面で水温が高く、海底に近づくにつれて水温が下がっている様子がみられました。

冬の調査では海面から海底まで、水温の変化がみられませんでした。

### 夏の調査



### 冬の調査



※St.10の調査は夏のみ実施

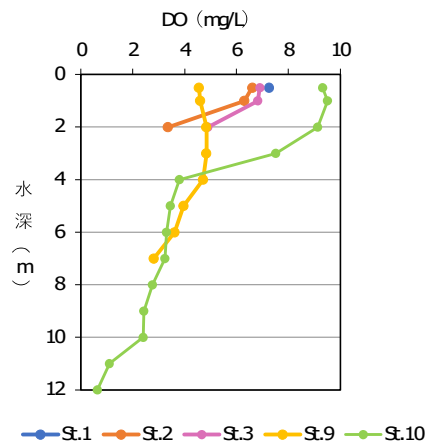
## ②溶存酸素(DO)

溶存酸素とは水に溶けている酸素のことです。溶存酸素は海の生きものが生きていくために必要不可欠なもので、一般的に3.0 mg/L以下になると、多くの生きものが生活できなくなってしまうとされています。

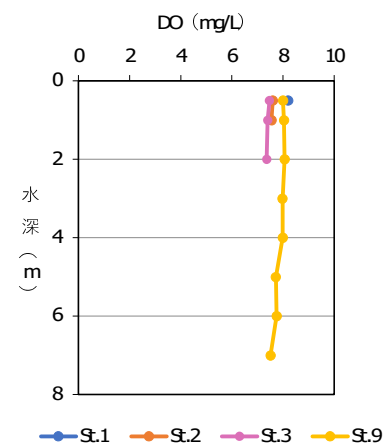
夏の調査では、溶存酸素が海面近くで高く、海底に近づくにつれて低くなっていく様子がみられました。海底近くで溶存酸素が3.0 mg/Lを下回る地点もありました。

冬の調査では、溶存酸素は海面から海底まで高い値を示していました。

### 夏の調査



### 冬の調査



※St.10の調査は夏のみ実施

東京湾では溶存酸素が低い水の塊「貧酸素水塊」が夏場によく発生しているんだ。貧酸素水塊についてトピックス③(31ページ)で詳しく説明するよ!

